



6月12日(水)にイーブルなごやにて、授業研究部(小学校)6月例会を行いました。今回は、「日常生活に生きる国語」というテーマで、天白小学校の恒川圭先生にご提案いただきました。

教科書教材でも、アニメでもマンガでも同じ型があることを、児童に理解させるために「物語の構造(作られ方)を知ろうプリント」を使って提案していただきました。また、「読みの観点活用プリント」では、①心情、②行動、③色、④天気などの読みの観点を活用することで、人物の気持ちや性格を読むときに役立つことを押さえ、例文の中で使われている読みの観点を見つけて心情を考えました。

さらに、「節分の鬼」という日本昔話のアニメを、「中心人物の変化」や「読みの観点」を意識して視聴したことで、物語の構造を捉えたり、物語をより深く捉えたりすることができることなどを教えていただきました。

次回、7月10日(水)の例会では、有松小学校の長坂耕司先生にご提案いただきます。みなさんのご参加をお待ちしております。